



6年生を送る会



3月5日(水)に、全校児童で「6年生を送る会」を行いました。これまであらゆる場面でお世話になり、いよいよ中学校へ進学する6年生への感謝の気持ちを伝えるとともに、全校みんなで楽しい思い出を作る大変素敵な時間となりました。愛国っ子らしさあふれる笑顔がいっぱいの時間だったのですが、6年生の3人とのお別れが本当に目前に迫っているのだということをあらためて感じさせられる瞬間ともなり、残された時間を大切にしよう!と、みんなで強く心に誓いました。残す登校日は卒業式も入れて5日のみ。全校みんなで、中身の濃い、充実した毎日を築いていきたいと思います。



きっと3人の6年生にとっても、「卒業」を強く意識させられた時間だったのではないかと思います。残りの毎日を大切に、それぞれに思い残すところのない生活を送ってほしいです。

七中エリア★アウトメディアデー

七中エリアの、今年度2回目のアウトメディアデーが2月に行われました。前回の経験を生かし、「前よりもスムーズにできた」と話してくれた子もいましたが、それぞれのご家庭では、電子メディアとの接触を減らし、家族団らんなどの時間を少しでも増やすことができたでしょうか。電子機器に囲まれた生活が当たり前の現代ではありますが、だからこそ、意識してそういったメディアとの接し方について考えていく必要があるのだと感じます。

【各家庭で取り組んでみた感想から、いくつか紹介いたします】

- ゲームの時間を減らして、雪遊びやみんなとおしゃべりできて楽しかったです。
- 土曜日にテレビを1日つけなかったからママとボードゲームをしたりしました。楽しかったです。
- 家族とカードゲームをしたりするのが楽しかったからまたやりたい。
- 家族との会話がいつもより増えたことがよかったです。
- 前回と違い、親から声かけしなくても取り組んでいて偉いなあと感じました。子どもとじっくりおしゃべり楽しかったです。
- 家族でボードゲームしたり、ホットプレートでお好み焼きをしたり、楽しい休日を過ごせました。
- 子どもだけでなく、大人の私たちもこのような時間を一緒にチャレンジしたことで、家族の中でもたくさん話すことの大切さを感じることができました。

(■は子どもの感想、○は保護者の感想です。)



令和6年度 後期 学校評価アンケートの結果について

令和7年2月に、愛国小学校の児童、保護者を対象に実施したアンケートの集計結果と、学校の取組をお知らせいたします。保護者の皆様からいただきましたご要望やご意見等につきましては、全教職員で共有し、今後の教育活動の改善に向け、具体策を立てて取り組んでまいります。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「学校経営に関すること」「学校教育目標に関すること」「連携に関すること」の各設問について、4段階評価で回答いただきました。（保護者回答率：95%）
 【4段階評価】 4:よくあてはまる 3:おおむねあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない
 児：児童 保：保護者 は評価 3.2 以上 は評価 3.0 未満
 () 内の数字は昨年度(R5)の結果

【学校経営に関すること】

No.		評 価 項 目	児 童	保 護 者
1	保	学校は、教育活動について、各種通信やホームページ、懇談会等をとおして、わかりやすく伝えていると思いますか。	—	3.6 (3.7)
2	保	学校は、子どもたちが安心して、楽しい生活を送るために、校舎、グラウンド教室などの環境整備に努めていると思いますか。	—	3.6 (3.6)
3	保	学校は、保護者や地域との連携を図りながら、学校行事や学習を進めていると思いますか。	—	3.6 (3.3)
4	児	わたしは、学校で勉強したことがよくわかる。	3.7	3.3
	保	学校では、わかりやすい授業が進められていると思いますか。	(3.8)	(3.6)
5	児	先生たちは、わたしの話をきいてくれ、わかってくれる。	3.8 (3.6)	3.5 (3.4)
	保	学校は、児童一人一人のよさを認めながら指導を行っていると思いますか。		
6	児	学校には、いじめがない。	4.0 (3.7)	3.4 (3.6)
	保	学校は、いじめのない学校、学級づくりに取り組んでいると思いますか。		
7	児	わたしは、学校に行くのが楽しい。	3.6 (3.3)	3.4 (2.9)
	保	お子さんは、学校に行くのを楽しみにしていますか。		

[No.1] 今後も、学校の方針や教育活動の様子をわかりやすくお伝えするよう努めます。ホームページにも行事等の様子を掲載していますので、ご覧ください。
 愛国小学校ホームページ
<http://www.aikoku.obihiro.ed.jp/>

[No.3] コロナ渦を経て行事の在り方については検討を進めてまいりました。次年度も行事のねらいと、本校や地域の特色を結び付けながら検討を進めてまいります。

[No.4] ロイロノートや Canva の活用が進んだことにより、多くの児童が「勉強したことがよくわかる」と回答しており、教職員も ICT の効果的な活用について工夫をしてきたことで、子ども達が主体的に学ぶ授業に変化してきました。今後も、保護者の皆様にも学校としてどんなねらいでどんな力をつけたいのかをお伝えしながら個別最適な学び、協働的な学びについて更なる充実を図ってまいります。

[No.5, 6] 「学校にはいじめがない」と多くの児童が感じていることや、「先生たちは、わたしの話を聞いてくれ、わかってくれている」と感じている児童が多い結果となりました。教職員と児童が良好な関係であることがわかり、大変喜ばしい結果です。児童が学校や学級に安心感をもって過ごすことができている様子がうかがえますので、今後も安心して学べる環境作りに努めてまいります。

[No.7] 昨年度より「学校に行くのが楽しい」と答える児童が増えました。今後も、安心して学べる環境の土台を作っていくことはもちろんのこと、児童一人ひとりのウェルビーイングの実現に向けて、次年度にむけて具体的な手立てを検討してまいります。

【学校教育目標に関すること】

No.		評 価 項 目	児 童	保 護 者
8	児	わたしは、すすんで学習に取り組んでいる。	3.5	2.8
	保	お子さんは、自ら進んで学習に取り組んでいますか。	(3.4)	(3.0)
9	児	わたしは、クロームブックや大型テレビなどをつかって学習している。	3.9	3.3
	保	お子さんは、クロームブック等ICTを活用した学習に興味をもっていますか。	(3.7)	(3.4)
10	児	わたしは、読み・書き・計算がしっかりできる。	3.2	3.0
	保	お子さんは、基礎基本が確実に身に付いていると思いますか。	(3.2)	(3.3)
11	児	わたしは、明るく素直に生活している。	3.5	3.2
	保	お子さんは、明るく素直な態度で生活していますか。	(3.4)	(3.3)
12	児	わたしは、心のこもったあいさつや返事をしている。	3.7	3.1
	保	お子さんは、心のこもった挨拶や返事をしていますか。	(3.5)	(3.3)
13	児	わたしは、家や学校のきまりや約束を守っている。	3.5	3.0
	保	お子さんは、家や学校のきまりを理解し、約束を守っていますか。	(3.6)	(3.4)
14	児	わたしは、周りの人に思いやりの気持ちをもって接し、仲良くしようとしている。	3.8	3.5
	保	お子さんは、自分の命を大切に、他人を思いやる心が育ってきていると思いますか。	(3.5)	(3.4)
15	児	わたしは、ねばりづよく最後までやりぬくことができる。	3.5	2.9
	保	お子さんは、ねばり強く最後までやりぬくことができていますか。	(3.4)	(3.3)
16	児	わたしは、どの学年の友だちとも、協力して活動することができる。	3.7	3.1
	保	お子さんは、集団活動に積極的に参加していますか。	(3.7)	(3.3)
17	児	わたしは、安全な行動をするように気をつけている。	3.8	3.3
	保	お子さんは、事故防止に心がけ、安全な行動に努めていますか。	(3.6)	(3.4)
18	児	わたしは、「早ね・早おき・朝ごはん」を心がけ、体力づくりに頑張っている。	3.3	3.1
	保	お子さんは、健康に心がけ、体力づくりに努めていますか。	(3.5)	(3.4)

[No.8] 「お子さんは自ら進んで学習に取り組んでいますか。」の質問に対して児童と保護者の間で差が見られます。保護者にも学習の内容や取組が見えるような働きかけや、学校として家庭学習のあり方について提示できるようにしてまいります。

[No.10] 「読み・書き・計算（基礎学力の定着）」については、児童が「できるようになったこと」や「がんばってきたこと」を実感することで、自己肯定感につなげるような働きかけをしてまいります。

[No.11、12] 「挨拶や返事（基本的な生活習慣の定着）」については、どんな場面でも明るい態度や挨拶が身につくよう日常的な指導を継続してまいります。

[No.13] 生活のきまり、学びの約束、アウトメディアデーなど、エリアで統一した取組を進めてまいりました。各ご家庭からのご理解とご協力により、一定の効果が表れ、子ども達も意識して生活を送ろうとする姿が見られました。改善が見られたことをポジティブに捉え、子ども達にフィードバックし、学校としてよりよい方向へつなげていきたいと考えています。

[No.14] 農園活動やKOEタイム（全校遊び）など縦割り活動を通して異学年交流を充実させてきました。下級生に思いやりをもって接することを日頃から意識して生活をしていることが子ども達一人一人の実感につながっていると考えています。

[No.17] 今学期は休み時間に災害が起きた場合を想定して、予告なしの避難訓練を実施いたしました。いつどんな場合でも自分の身を守るための安全な行動ができるよう、年間を通した指導を続けてまいります。

[No.20] 保護者との連携については、保護者が相談しやすい学校との関係が作れるよう、担任だけが相談窓口ではなく、教職員誰とでも話せる雰囲気作りや関係作りに努めてまいります。

【連携に関すること】

No.		評 価 項 目	児 童	保 護 者
19	保	授業参観や懇談会は、参加しやすいですか。	—	3.4 (3.3)
20	保	お子さんの様子等について、学校または関係職員に相談しやすいですか。	—	3.2 (3.4)
21	保	お子さんは、家で学習する習慣が身についていますか。	—	2.9 (3.5)

【保護者の皆様より】

～学校行事「特色ある教育活動」として取り組んでいる〔食農教育〕〔学習発表会〕〔マラソン大会〕について～

○どれもとても良かったと思います。

○学習発表会では、普段見ることの出来ない成長を見せて頂いています。先生達のご指導に感謝です。

○とても楽しんでいました。食農については、シェフが大半をやったり作ったデザートを出すのでもっと自分たちで作りたかったと子供が言っていた。

⇒来年の食農教育について、すでに計画を立て始めているところです。子ども達の思いを大切にしながら、調理の工程についてはシェフと相談しながら連携を図っていきたいと思います。

○今までできなかったことや不得意なこと、取り組もうと思わなかったであろうこともしっかり実施しており、子供の成長を感じました。我が子だけではなく、他の子供たちも堂々と行事を行っていたことにも感動しました。

○学習発表会は平日開催ではあるが、実施時間は変わらないことに少し驚いた。畑関連はとても楽しく活動している様子。マラソンの時期は例年喘息が出るので、苦しくて可哀想だなと思うが、本人はやる気にあふれているようだ。

○食農発表会では、身近にありながらも、詳しくは知らなかった野菜の成長や機械のことを改めて振り返ったりすることができ、大人も勉強になりました。皆よく観察していて大切に育てたのが伝わってきました。他の人にもわかりやすく発表していてすごいなと思いました。シェフの方が来て下さって、皆が育てた食物を特別な空間で皆で食べて、印象に残る素敵な時間でした。

○食農教育のおかげで、野菜を食べようとしたり料理を手伝おうとするようになってきました。マラソン大会や発表会では、日頃のご指導と練習や色々な方の応援のおかげで、緊張の中でも最後までやることができましたと思います。発表会後ももっと上手になりたい気持ちがあるみたいなので、次につながっていくといいなと思います。

○それぞれ、素晴らしくて、楽しそうにしている姿を見られて、とても良かったです。一年で、すごく成長も感じられました。ありがとうございます。

○運動会の応援合戦を再開して欲しいです。

⇒学校で行う教育活動のあり方や内容について、教育的な効果や必要性等も含め、次年度にむけてしっかりと検討してまいりたいと思います。

～教育活動全般についての感想やご意見～

○壁新聞作りや版画などで初めて賞をもらい、とても嬉しそうでした。細かな指導のおかげで成果が出て自信に繋がったと感謝しています。スケートリンク造成ができなかったのは残念ですが、寒い冬に外で活動するのも体力作りや雪の地方ならではの思うので、スケート授業が出来ない時は外で雪遊びやサッカーをするなどしてはどうかと思います。スケートがなく、普通の授業になると子供がガッカリしています。

⇒雪不足によりスケートリンクの造成は出来ませんでした。大正小学校のスケートリンクをお借りしてスケート授業3回行うことができました。また、PTAの方のお力をお借りして校庭の雪を寄せて雪山や迷路を作っていただき、クラブ活動や体育の授業で冬の体力作りの一助となる活動ができました。今後とも雪国ならではの体験活動を大切にしていきます。

○いつもお世話になりありがとうございます。スケートでは、今年は天気の関係で難しい中、なるべくリンクの上でできる様に機会をつくって下さり感謝しております。また、1年を通して、大正小学校の子と交流があって、回数を重ねて、気持ちも和らいで名前を覚えたり、名前を覚えてくれて呼んでくれたりするようになり、喜んでおりました。これからも広がっていくと嬉しいなと思います。

* 今回のアンケートは、前回より多くの保護者の皆様にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。今後も、全教職員で全児童を見守り、地域・家庭・関係機関と連携しながら、子どもたちの笑顔があふれる教育活動を行ってまいります。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。